



703-0123 万能ポリパテECO



703-9340 ポリパテ硬化剤エコー 標準型
703-9341 ポリパテ硬化剤エコー 速乾型

1. 荷姿

主剤 3KG専用缶
硬化剤 100Gチューブ入

2. 塗料タイプ

ノンスチレン型
不飽和ポリエステル樹脂系パテ

3. 用途

産業機械・IT関連機器

4. 適応素材

SPCC、ボンデ鋼板
A5052Pステンレス

5. 特徴

- 1) 上塗り粉体塗料適用可
- 2) 粉体焼付時のワキが少なく
- 3) 耐熱性が優れる(200℃×30分)
- 4) キメ細かく、ヘラ伸びが良好
- 5) 研磨作業性に優れる
- 6) 各種素材への付着性が良好
- 7) 特化則(H28.8.1改正)対応

6. 塗料性状

	主剤	硬化剤
性状	ペースト状	ペースト状
色	グレー	黄色
消防法	指定可燃物 可燃性固体類	第5類 第2種自己反応性物質

7. 乾燥時間

温度	硬化剤		乾燥性	
	タイプ	添加量	可使時間	研磨可能時間
10℃	速乾型	3%	15~20分	120分以上
20℃	標準型	2%	5~8分	60分以上
30℃	標準型	2%	3~6分	40分以上

*60℃×10分の強制乾燥で研磨可能です。

8. 塗膜性能

パテ	粉体仕様		溶剤仕様	
	万能ポリパテECO			
中塗	-	-	AR Bt-100 ⁺ ライマー、 ニッソパ ⁺ イング ⁺ -140 等、焼付型エポキシ樹脂塗料	
上塗	ニッソパ ⁺ ウグ ⁺ -PE、 ニッソパ ⁺ ウグ ⁺ -EP 等、粉体塗料		アクリオン、 4timesパ ⁺ ルコート 等、焼付型アクリル樹脂塗料	
付着性	SPCC	25/25	25/25	
	ボンデ鋼板	25/25	25/25	
	A5052P	25/25	25/25	
	SUS304	25/25	25/25	

パテ膜厚：0.3mm

付着性：クロスカット法 2mm間隔 格子数25個

使用上の注意

1. 使用後は、完全にふたをして下さい。
2. ベース・硬化剤とも直射日光を避け、冷暗所に保管して下さい。
温度の高い場所に保管しますと、反応が進み乾燥が悪くなりますので、夏季には特に注意して下さい。
3. ベースは、長期間保存すると乾燥不良やゲル化を起しますので、ご注意ください。
硬化剤は長期間保存すると効力が減退します。
4. パテベースは、よくかき混ぜてから必要量だけ取り出して下さい。
次にベースと硬化剤とを均一になるまで練り合わせ、可使時間内に使い切して下さい。
5. 一度に厚付けすると内部に気泡ができて素穴を生じやすいので、2~3回に分けてヘラ押しを行って下さい。
6. 硬化剤は、120℃以上で自然発火し、急激に分解する成分を含んでいますので、絶対に火気を近づけないで下さい。

取扱上の注意

●パテベース

吸収すると中毒その他の健康被害を起す可能性がありますから、取り扱いには下記の注意事項を守って下さい。

1. 火気のあるところでは使用しないでください。
2. 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
3. 塗膜中、乾燥中とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
4. 取り扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、又は送気マスク、保護手袋、前掛け等を着用して下さい。
5. 取扱い後は、手洗い及びうがいを行って下さい。
6. 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
7. 風気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所まで安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
8. 火災時には炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いてください。
9. よくフタをし、冷暗所で貯蔵してください。
10. 子供の手の届かない所に保管して下さい。
11. 中身を使いきってから廃棄して下さい。
12. 指定された以外の材料と混合しないで下さい。

* 詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●硬化剤

皮膚に付着したり、眼に入ったりすると炎症を起したりする場合がありますから、取り扱いには下記の注意事項を守って下さい。

又、加熱、衝撃などにより、爆発する恐れがありますので取扱いには十分に注意下さい。

1. 火気のあるところでは使用しないでください。
2. 取り扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、又は送気マスク、保護手袋、保護手袋、前掛け等を着用して下さい。
3. こぼれたときには、砂等を散布した後、布類(ウエス)で拭きとって下さい。布類は水に浸して処理して下さい。
そのまま乾燥状態でも貯蔵すると分解発火することがあります。
4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを行って下さい。
5. 皮膚に付着したときには、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷が生じたときには、医師の診察を受けて下さい。
6. 目に入ったときには、流水で15分以上洗眼し、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
7. 火災時には、泡又は粉末消火器を用いて下さい。
粉末消火器、ハロン消火器等を使用した場合には、再燃を防ぐ為、水で充分冷却して下さい。
8. よくフタをし、冷暗所で貯蔵して下さい。
9. 子供の手の届かない所に保管して下さい。
10. 指定された材料以外のものと混合しないで下さい。
又、混触危険のある還元剤、全質塩類、アミン類とは一緒に貯蔵しないで下さい。
11. 取扱い中の喫煙は控えて下さい。

* 詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(SDS)をご参照下さい。



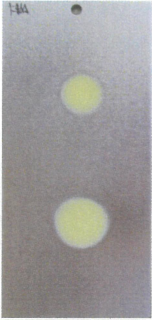
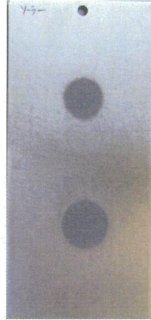
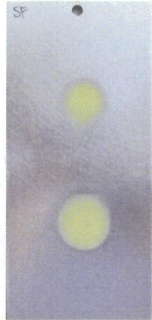
SDGs達成に向けた活動を積極的に推進してまいります

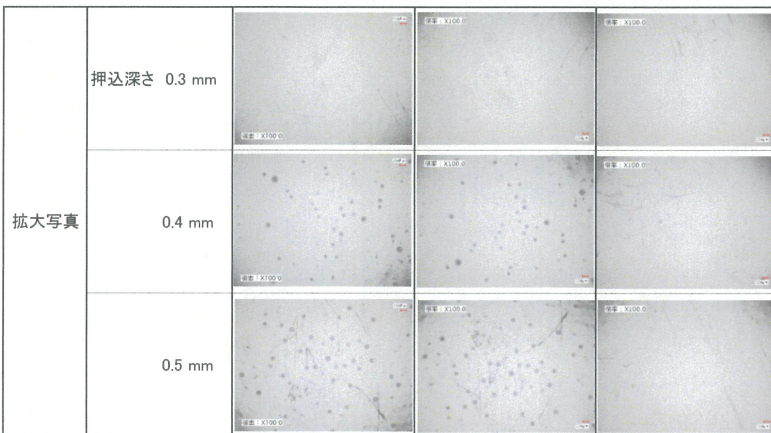
久保寿ペイント株式会社
<https://www.kuboko.co.jp>

工業用スチレンフリーパテ ワキ状態確認

SPCCにエリクセン試験機で指定の押し込み深さまで凹みをつける。
その後各パテを塗装し、平滑になるまで研磨したのちに粉体塗料を上塗りする。

下塗	ベース	現行 焼付用 ポリパテ 703-0273	(ソラー) ハイフレックス SB-6D スチレン含有 導電性パテ	スチレンフリー 工業用パテ No.1-1 現行から ビニエステル 同固形分置換
	硬化剤	703-9341 (速乾)	硬化剤 O-10	←
	調合比	100:2	←	←
	乾燥条件 膜厚		常温 約2時間 各押し込み深さ	
上塗	塗料		784-401	
	焼付条件		180°C × 20分	
	膜厚		70-100 μm	

外観 (ワキ)	粉体塗装前 押し込み深さ 0.4mm & 0.5mm			
	押し込み深さ 0.1 mm	○(ワキなし)	○	○
	0.2 mm	○△	○	○
	0.3 mm	△	○△	○
	0.4 mm	△	△	○△
	0.5 mm	×	×	△



加熱後減量 (%)	1.0 ± 0.2	0.8 ± 0.1	0.6 ± 0.1
-----------	-----------	-----------	-----------

n=3で実施
ブリキ板に各パテを約8g塗装。加熱前後の重量変化を見る
180°C × 20分後

粉体塗装後の外観はスチレンフリーパテが比較的良好。
スチレンフリーパテは塗膜の加熱後減量値が小さく、粉体焼付時の揮発成分量が比較的小さいと思われる。